

平成21年度 兵庫県行政書士会 阪神支部 定期総会



連休初日の4月29日、晴れ上がった清々しい空の下、平成21年度 兵庫県行政書士会阪神支部定期総会が行われました、今回は第50会の定期総会に当たり、設立以来半世紀の年月を重ね、節目の年の定期総会となりました。

内輪のことではありますが、昨年、東本前兵庫県行政書士会会长が急逝されました、この故人の靈に黙祷をささげ、本年の定期総会が始まりました。開会の宣言の後、支部長の挨拶が行われ、その後議長等の選任手続きに続き、議事が開始されました。昨年の活動報告、決算報告の行われ、両案件につき総会承認が行われました。しばしの休憩を挟んで、今年度の活動予定案、予算案が審議され、活発な議論の末、総会承認となりました。最後に本年は支部長選挙の年に当たり、現支部長の上田昭次が再任され、引き続き支部長への就任が決まり、支部の役員人事等も発表されました。これらの議案承認が行われ平成21年度兵庫県行政書士会阪神支部定期総会は無事終了しました。

その後は地域選出の国會議員・県会議員の方々などに御出席いただき、懇親会を催し、会員相互において阪神支部として結束を新たにする席と成りました。

本年は50周年を迎える筋目の年ですが、本年を筋目で終わらせる事無く、兵庫県行政書士会阪神支部にとって記念すべき年であったと、後年支部会員のみならず、地域の市民の皆様からも言っていただけるよう、本年も阪神支部一丸と成って努力して参りますので、これまで以上に阪神支部をよろしく御願いいたします。